

2023年10-11月

日 医 工 株 式 会 社
富 山 市 総 曲 輪 1 丁 目 6 番 21

「禁忌」及び「使用上の注意」改訂のお知らせ

無機質製剤
日本薬局方 塩化カリウム
塩化カリウム「日医工」

製造販売元 日医工ファーマ株式会社
販売元 日 医 工 株 式 会 社

この度、上記製品において、「禁忌」及び「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）しましたので、お知らせ申し上げます。今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂内容> (..... : 自主改訂、 ~~~~~ : 削除箇所)

改訂後			改訂前		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.6 省略（変更なし） 2.7 エプレレノン（高血圧症）、 <u>エサキセレノン</u> を投与中の患者 [10.1 参照]			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.6 省略 2.7 エプレレノン（高血圧症）を投与中の患者 [10.1 参照]		
10. 相互作用 10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10. 相互作用 10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
エプレレノン セララ（高血圧症） <u>エサキセレノン</u> <u>ミネプロ</u> [2.7 参照]	高カリウム血症があらわれることがある。	これらの薬剤は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者	エプレレノン セララ（高血圧症） [2.7 参照]	高カリウム血症があらわれることがある。	<u>エプレレノン</u> は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者

<改訂内容> (_____ : 自主改訂、 _____ : 削除箇所)

改訂後			改訂前		
10.2 併用注意 (併用に注意すること)			10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
エプレレノン (慢性心不全) <u>フィネレノン</u>	血清カリウム値が上昇する可能性があるため、血清カリウム値を定期的に観察するなど十分に注意すること。	カリウム貯留作用が増強するおそれがある。	エプレレノン (慢性心不全)	血清カリウム値が上昇する可能性があるため、血清カリウム値を定期的に観察するなど十分に注意すること。	カリウム貯留作用が増強するおそれがある。
抗アルドステロン剤 スピロラクトン等 省略 (変更なし) ドロスピレノン・エチニルエストラジオール <u>トルバプタン</u>	高カリウム血症があらわれることがある。	これらの薬剤は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者	抗アルドステロン剤 スピロラクトン等 省略 ドロスピレノン・エチニルエストラジオール	高カリウム血症があらわれることがある。	これらの薬剤は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者
抗コリン作動薬 ブチルスコポラミン 等	省略 (変更なし)		抗コリン作動薬 ブチルスコポラミン 等	省略	
筋弛緩剤 <u>ロクロニウム</u> 等	筋弛緩剤の作用が減弱することがある。	カリウムイオンは骨格筋の収縮に参与している。	筋弛緩剤 <u>ベクロニウム</u> 等	筋弛緩剤の作用が減弱することがある。	カリウムイオンは骨格筋の収縮に参与している。

<改訂理由>

- ・相互作用相手薬の添付文書との整合を図るため、「禁忌」及び「併用禁忌」の項に「エサキセレノン」(販売名：ミネプロ)を追記し、「併用注意」の項に「フィネレノン」、「トルバプタン」を追記しました。また、筋弛緩剤の代表薬剤を、すでに販売を中止している「ベクロニウム」から「ロクロニウム」に変更しました。

<GS1 バーコード>

最新の注意事項等情報につきましては、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ[®]」で下記 GS1 バーコードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

なお、「添文ナビ[®]」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

塩化カリウム「日医工」



(01)14987376597712

今回の【使用上の注意】の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.321」(2023年11月発行)に掲載の予定です。
また、改訂後の電子化された添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>)に掲載致します。

塩化カリウム 23-306A